

みつくら

令和 7年 2月15日 第428号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

7区公民館賑わう!

1月4日、7区自治公民館（菅原清孝館長）では5年ぶりとなる「新年会」が25名の参加で行われた。菅原館長の年頭の挨拶後、辻村 吏農家組合長の乾杯で始まり、参加者はお互いの近況報告や今年の抱負などを語り合った。ビンゴゲームやお楽しみ抽選会もあり、中にはどちらも賞品を獲得した方もいた。ビンゴゲームでは、皆が縦・横・斜めいづれもカードの穴が繋がらない中、菅原教雄さんはダントツの速さで1等賞となった。久しぶりの交流で相互の親睦を深め楽しい時間となった。

九区で新年交賀会

1月12日に九区自治公民館（菅原邦典館長）では、雪もなく穏やかな中、新年交賀会が開催され30名が参加した。菅原館長は、「この新年交賀会が今年度最後の公民館行事となり一年間ご協力を頂き有難うございます。また、今年も、神楽保存会が権現舞を披露して頂くことに感謝致します」と挨拶した。

来賓の挨拶の後は、大瀬川神楽保存会の権現舞の演舞で参加者の無病息災を祈り、熊谷政男第一老人クラブ会長の乾杯で祝宴となった。今年も、折り詰めやオードブルの他に各自におでんが配られ、食べたり飲んだりして話にも花が咲き、楽しいひとときを過ごした。最後は、藤原咲子第九区農家組合長の中締めで新年の門出を祝った。

防災訓練と世代間交流会を実施

九区自治公民館で1月18日、30名が参加し第九区自主防災会（山形圭子会長）と第一老人クラブ（熊谷政男会長）合同の防災訓練と世代間交流会が行われた。

最初に、ホールから外への避難訓練を行った。続いて、世代間交流会として区内の小・中学生7名中、当日は1名しか参加できなかったが、高橋恵美子さん（北寺林在住）が「人形の大ちゃん」を連れて腹話術と手品で一時間ほど、みんなを楽しませてくれた。その後は大瀬川神楽保存会が中学生に

鉦（かね）を教えたり、参加者全員で輪投げやポッチャなどの室内ゲームで楽しんだ。最後は、一合ずつ持ち寄った米で、装備しているガス釜を使ってカレーの炊き出し訓練を行い、参加者全員で昼食となった。カレーのお代わりもあり、楽しく有意義なひと時を過ごした。

消防出初式に大瀬川の団員

1月12日に行われた花巻市消防団の出初式に、大瀬川の全団員が参列した。式典は花巻市文化会館大ホールで行われ、続く分列行進は花巻市上町の岩手銀行前を行進した。出初式には、大瀬川から花巻市消防団副団長の板垣光善さんが指揮者、畠山敏広さんが第4大隊第1中隊長として、さらに畠山勝敏さん（第13分団副団長）、板垣章郎さん（13分団付部長）、第1部からは板垣雄一さん（13分団第1部長）、玉山敦さん（第1部班長）、藤原美輝さん（第1部班長）、以下同団員の熊谷和紀さん、板垣生栄さん、柳原紘樹さん、藤原誠さん、畠山拓さん、熊谷雄二さん、熊谷信人さん、菅原純幸さん、第2部は畠山智明さん（第2部長）、菅原善孝さん（第2部班長）、菅原涉さん（第2部班長）、菅原亮さん、辻村智さん、畠山勝則さんらが参列した。

ほか出初式の対象外であるが、大瀬川の消防団員は熊谷修治さん（1部）、藤原芳男さん（1部）、菅原正義さん（2部）畠山義弘さん（2部）が機能別団員として活躍している。機能別団員は、花巻市が平成21年から導入し、大瀬川では平成23年に2人が入団したのが始まり。機能別団員とは、全ての消防団活動に参加できない人が、市町村等で定めている特定の活動・役割に従事する制度で、定められた特定の活動に従事するほか、講習等で団員としての技術・知識を身につけ活動している。

表彰（敬称略）

花巻市消防団功績章 辻村 智
 花巻市消防団勤続章 柳原紘樹
 花巻市民顕彰推進協議会会長表彰 菅原得之

畠山ひよ里さんが交換留学生としてホットスプリングス市へ

花巻市の姉妹都市であるホットスプリングス市に、花巻市の交換留学生（全市から24名、内石鳥谷町から4名）として六孟家の畠山ひよ里さん（石鳥谷中2年）が令和6年10月末に渡米し、11月6日に帰国した。留学中は、市内の学校との交流会に出席し、宿泊はホットスプリングス市から花巻市に交換留学生として来訪した学生宅にホームステイした。畠山さんは現在学年委員長で、先日は冬休み体験談を発表している。

ホットスプリングスは、アメリカ合衆国アーカンソー州ガールランド郡の郡庁所在地にあり、人口は3万8千人の都市で、合併前の旧花巻市が姉妹都市を締結している。ちなみに、旧石鳥谷町は米国のラットランド市、旧大迫町はオーストリアのベルンドルフ市、旧東和町は米国のクリントン村と姉妹都市であり

、新市に合併後も花巻市が交換留学生を派遣している。

市民憲章運動実践活動表彰者に菅原得之さん

1月18日石鳥谷生涯学習会館にて、明るいイーハトーブの実現をめざして令和6年度花巻市市民憲章運動推進大会が開催された。市民憲章運動実践活動表彰者は、個人3名・団体1組で、市民憲章標語表彰者は小学生16名が表彰された。その中で、花巻市民憲章の精神に則り、明るいイーハトーブの実現のため、進んで善行を実践する個人として「長年にわたり地域の成り立ちをまとめその成果を自費で出版し、無償配布されるなどの地域に貢献され、芸術や教育文化体育の発展に努めている」功績を評価され、菅原得之さんが表彰された。

菅原さんは翌1月19日、「淵澤能恵（ふちざわ のえ 八重畑出身で明治から昭和の女子教育家 韓国女子教育の母と呼ばれた）を顕彰する会」の「創立20周年記念式典」で、淵澤能恵顕彰の記念誌を参加者に無料で配布し皆に感謝されていた。上田花巻市長はこの両日来賓として出席し、今後も活動を継続願いたいと祝辞を述べた。

花巻市農業賞に菅原夫妻

2月1日に花巻市農業振興本部（本部長上田東一花巻市長）主催の令和6年度花巻市農業振興大会が、JAいわて花巻総合営農指導拠点センターで行われ420名が参加した。その中で、令和6年度の花巻市農業賞を菅原黎治さん・敬子さん夫妻が受賞し表彰された。今回の農業振興に貢献された花巻市農業賞には、4団体と10組の夫婦、個人2人に市農業賞を贈られたもの。内訳は「営農部門」に3団体と1人農村における生家改善や社会文化の向上に寄与した「生活文化部」に3団体、「青年農業奨励部門」に1人で、菅原さん夫妻は長年農業に従事し、地域農業の模範として実績を残した「功労部門」で表彰を受けた。これまでに大瀬川から花巻市農業賞を受賞されたのは、平成20年度に大瀬川高度水田利用組合、平成23年度には板垣忠夫さん・眞喜子さん夫妻、平成25年は板垣光巳さん・順子さん夫妻、平成27年度は板垣智恵子さんと板垣幸寿さん・禮子さん夫妻、令和5年度は菅原清昇さん・みさ子さん夫妻がいる。

県道盛岡石鳥谷線で交通事故

大瀬川12地割の県道285号線（県道盛岡石鳥谷線）の交差点（熊谷賢良さん宅東側600m）で1月7日午後3時頃、ドラム缶10本を積んだ3トントラックが県道を北進中に、東側から来た乗用車に衝突されトラックは向きを反対側に変えて横転した。道路上のドラム缶に引火の恐れがあると消防車も2台駆け付けた。トラックの運転手は横転した運転席の上のドアから救出されたが、乗用車の運転手は救急車で運ばれた。新聞で報道されなかったことから大きな怪我はなかったものと思われる。

みつくら

令和 7年 2月15日 第428号
発行 大瀬川活性化会議
編集 「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

1ヶ月に6人の訃報掲載は初

今号の「みつくら」は第428号である。第1号は石鳥谷町が花巻市と合併（平成18年1月1日）した平成19年5月1日号であった。今日まで（平成13年5月から）の23年9ヶ月の間に、1ヶ月に6名の訃報を載せたのは今号が初めてである。これまで1ヶ月に3人を掲載したのは複数あるが・・・。

訃報

○**旦乃花家の菅原ミヨ**さんは、12月30日に92歳で亡くなりました。菅原さんは稲豊の「いたこ家」の生まれで嫁がれた頃は戦後の食糧難時代の中、義父さんとご主人は馬車曳や山仕事で生計を立てていました。

嫁がれた後、昭和34年の世帯名簿（菅原雄一区長）によれば、旦乃花家は11人家族でした。いまでは大家族のように感じられますが、当時は珍しいわけでもありませんでした。そんな中、ご主人は山仕事で忙しかつたこともあり、菅原さんは農業に勤しんで家庭を守られた方でした。

近所の板垣美喜子さんは「菅原さんは温厚な方で、怒った顔は一度も見たことがありませんでした。歌が上手で、班の集まりでは旅笠道中や上海の花売り娘など歌って皆を楽しませたんですよ」と話していました。美代子（嫁）さんは「私が勤め始めたので、娘の美里はほとんどおばあさんに育ててもらいました」と感謝していました。町保健補導員や大瀬川婦人協議会8区長なども担われました菅原さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○**証屋電家の熊谷セチ**さんは、1月3日に83歳で亡くなりました。熊谷さんは紫波町桜町字田頭の出身で、二人の子育ての後に岩手北辰に勤務されました。岩手北辰はその後、昭和59年に東京に本社がある日本圧電気株式会社に譲渡され、社名を岩手アツデンになってからも引き続き勤務されました。当時は岩手アツデンは社員170名を抱えた大きな企業で大瀬川の方も多数が勤務する中、熊谷さんはその岩手アツデンを定年まで勤務しました。

当時の仲間でした板垣喜美江さんは「熊谷さんは温厚な方

でしたよ。旅行が趣味で、社員旅行には欠かさず参加し、普段よりも話が弾んでいましたよ」と悔やんでおられました。晩年は「たんぼぼの会」の元気体操や、健康館に通い療養をていまして、お亡くなりになり残念でなりません。石鳥谷町農協婦人部9区長なども担われました熊谷さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○**外林家の菅原トクエ**さんは、1月4日に94歳で亡くなりました。菅原さんは紫波町片寄字堤下の出身で、昭和23年に18歳で外林家に嫁がれました。田植え機もなかった時代で、板垣ウメノさんが率いた田植えや田の草取り、稲刈りなどの「手間とり」で家業を支えた方でした。

趣味の旅行では、近隣の方々や皇居奉仕団に行った時に陸下からお声をかけられたのに感激し、友達との思い出話を花を咲かせていたのを思い出します。晩年まで野菜作りに励んでいましたが、その様子を板垣敦子さんは「菅原さんが、玉菜（キャベツ）にたかっている蝶々を、箒で追い払っていた姿が思い出します。また、正勝さんに連れられて佐藤クリニックでお会いした事はありませんが、9月（令和6年）に菅原さん宅を訪ねた時にお話をしたのが最後となってしまいました。その時は、しっかりした話し方でしたのに残念でなりません」と悔やんでいました。

菅原さんは、婦人会や班での集まりでは踊りを披露するなど趣味も多く持っておられました。温厚な方で、大瀬川婦人協議会8区長（昭和51年）なども担われました菅原さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○**新屋敷家の菅原實**さんは、1月10日に78歳で亡くなりました。大瀬川の名士として活躍されました菅原さんの訃報は残念でなりません。菅原さんは花巻農業高校を卒業した昭和40年の秋から労災事故に遭われた平成26年までの49年間にわたって、大滝酒造（埼玉県さいたま市）一筋に杜氏として勤務されました。この間、昭和49年に杜氏銜試験に合格してからは杜氏として数多くの入賞をされました。主なものでは、南部杜氏自醸清酒鑑評会優等賞が通算21回。そのほかに全国新酒鑑評会金賞も複数回受賞しています。

他に菅原さんは地域にも多くの役職で貢献され、年代順に大瀬川青年会長、山王海土地改良区総代、第7区自治公民館長、石鳥谷町消防団第2分団第2部長、大瀬川公民館運営委員会副委員長、大瀬川公民館創立50周年記念事業実行副委員長、大瀬川高度水田利用組合理事、作ノ沢水利組合長、7区農家組合長、石鳥谷地域農家組合協議会理事、石鳥谷地域農家組合協議会石鳥谷支部副会長、南部杜氏協会石鳥谷支部副支部長など他にもありますが、多くの役職を歴任され、地域に大きな貢献をなされました。他にも昭和55年8月号の石鳥谷町農協だよりに、奥さんとお二人の大きな写真が表紙を飾られたことも思い出されます。

平成26年に酒造タンクの足場から転落してから10年あまり療養されていましたが残念でなりません。地区に大きな功績を残されました菅原さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○**新田家の高橋仁吉**さんは、1月11日に76歳で亡くなりました。高橋さんは、大迫町亀ヶ森の出身で、晩年まで大工として働いていました。大工仕事では、結婚前から瀬川工務店（花巻市四日町）に勤務し、その後は熊谷春三郎棟梁の下で、さらに伸栄建設（天神電家）に勤務した後は、晩年まで板垣工務店（瀧鼻家）で大工をしていました。また、高橋さんで思い出すのは「たろし滝」の事です。平成16年から19年間も大瀬川たろし滝測定保存会の理事や監事を担われ、毎年の寒中に旗立てや道踏み、測定会で奉仕されていました。また、海釣りが趣味で葬儀には仲間達も参列していました。

他にも、高橋さんは地域でも多くの役職を担われ、岩手中部農業共済組合損害評価員、山王海土地改良区事業委員、上堰水利調整組合長、大瀬川生産森林組合副組合長、大瀬川戦没者慰霊祭実行委員、南野原石鳥谷水利調整組合副組合長、石鳥谷広域カントリーエレベーター利用組合運営委員、花巻農協総代、第9区農家組合長、第9区自主防災会副会長、花巻市消防団第13分団第1部後援会理事（消防経験者外）、第9区行政区長など他にもありますが、多くの役職を担われました。地域に大きな貢献をなさいました高橋さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○**野原家の熊谷君子**さんは、1月16日に87歳で亡くなりました。熊谷さんは紫波町片寄字沢田前の出身で、若くしてご主人の静男さんを亡くなられてからも農業に勤しまれた方でした。静治さんは「母は、当時林檎の葉かけの時にボルドー液を溶いた大きな樽の中にある柄の長い手押しポンプを押して、父が噴霧を手伝っていたのを覚えています。わりに力が必要で苦勞したと思います」と話していました。

また、熊谷さんの趣味はカラオケで、今と違って昔は集まると必ず飲んだものですが、あの透き通った歌声は評判になったものでした。野菜作りも上手で隣家にもめずらしい洋菜を配ったりしていました。熊谷さんは、車の免許を持たなかったので、いち早く電動自転車に乗って買い物をしており、14年前の東日本大震災の時にはガソリンが無く、筆者も自転車で買い物をしましたが、熊谷さんの電動自転車に追い越された時にはうらやましく思ったものでした。大瀬川交通安全母の会副会長や大瀬川婦人消防協力隊長なども担われました熊谷さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記 大寒に雨が降るなど昨年に引き続き今年も雪が少ないのかと思っていました。ところが最強寒波の襲来で、日本各地に大雪の被害がもたらされています。これも地球温暖化の影響といわれています。当地は被害を被るほどではないものの連日の雪降りや、除雪作業や車の運転などにかんなんしています。雪が降らなければ楽ですが、白鳥が集まり、餌をついばむ土がむき出しの田んぼを見ると、どこかソワソワした気分になるし、何より水不足も心配になります。何事も程よくいってほしいと願うばかりです。身体をいたわりながら健康に気をつけて春を待ちましょう。